

北海道手をつなぐ育成会 げっぼう

令和4年度 第1回「アカウンセリング研修会(報告)」

「PERSONALITY」～自分が人に優しくなれるには～

オンライン(ハイブリット)開催/道内14団体(本人含)・77名参加!

5月29日(日)、障がい当事者の皆さんを対象とした標記の研修会が開催されました。

コロナ感染症新規患者数の減少傾向が報道され始めた時期でしたが、感染症対策の効果的な方法の一つである、札幌会場(2団体14名)と、道内各地をオンライン(12団体63名)で結ぶ、いわゆるハイブリット方式での実施です。



今回の講師にはウイルス感染が原因で、脊椎の進行性難病に侵され、車椅子建築士として、バリアフリーのまちづくりに活躍されている「牧野 准子氏」(ユニバーサルデザイン(有)環工房代表取締役)をお願いをさせていただきました。

【講演要旨】

・私は突然、難病になって今までできていたことが出来なくなり、自分がダメな人間になってようで、とても

落ち込みました。そんな自分が嫌で、強くなりたくてカウンセリングの勉強を始めたのです。

・カウンセリングとは相談者が悩みや不安を話してもらうことによって、その抱える

困りごとを自分自身で解決できるように助けることです。

・そして、ピアカウンセリングとは、専門家ではないけれど、同じ様な障害があり、似たような立場、境遇にある仲間同士によるカウンセリングを言います。共通する体験が相手との信頼関係、共感関係を深め、相談者の力を引き出します。

・一番大切なことは、「自分を好きになること」です。そのためには、何でもいから、自分の自信になることを探しましょう。夢中になれること、得意なものがあればいいですね。

その後のお話は、車いすでの生活によって、周りにはいろいろなバリアー(自分の心の中にも)があることに気づき、「どんな人にとっても暮らしや



すい街にしたい。」と考えるようになったそうです。また、仲間をつくり、行政に声を届けることも大切なことだと。ご自分の家族や、ご自身の幼かった頃の具体的なエピソードを交え、写真やイラストのスライドを活用し、大変分かりやすい講演でした。

参加者からは「ヘルプマークの普及について」のご意見や、「アパートの他の住人から苦情を言われ、とても辛い思いをしたこと。知的障がいだと知らず、自分を責めたりしたこと。今は、仲間に出会えて、一緒にまわりの活動をしている。」ことなど発言が続きました。



【アンケートに寄せられた感想】

- ・支援者としても当事者と寄りそううえで参考になりました。
- ・本人の体験や、その時感じた気持ちが一番大切だということに、気が付かされました。
- ・大事なことを教えてくれてありがとうございました。

※オンライン接続に時間を要し、開会が遅れました。また、音量やスライドがストップする等のトラブルもあり、参加者及び、講師の牧野様には大変ご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。

令和4年度

北海道手をつなぐ育成会「定時総会」

3年ぶりに集合方式で開催！



5月23日(月)、感染対策を万全に「かでの2・7」において標記の総会が3年ぶりとなる「集合方式」で開催されました。

コロナ感染症拡大の勢いが減速傾向にあることを踏まえた判断でしたが、広めの会場を確保し、常に換気に努め、所要時間も1時間少々、さらには、ご来賓の皆様にも事情をご理解いただき、文書によるメッセージをお寄せいただくという総会でした。

出席状況は、会員総数79 育成会のうち、会場出席、委任状を合わせ、73名となりました。議長には「千歳市手をつなぐ育成会 青木様(右上写真)」が、議事録署名人には「苫小牧市手をつなぐ育成会 斉藤様」「北広島市しょうがい児者を持つ親の会 中川様」が選出され、議事もスムーズに進行。令和3年度の活動報告、4年度に向けた活動方針が全会一致で、可決、了承されました。



道育成会定時総会 会長挨拶

「しっかりと、前を向いて！」



北海道手をつなぐ育成会

会長 佐藤 春光

一昨年は「緊急事態宣言」が初めて発出され、総会は書面で実施しました。その年の10月に予定していた「北見大会」は開催地が「道内初のクラスター」発生地域となったこともあり、開催4か月前に中止を決定しました。

昨年の総会は、3回目となる「緊急事態宣言」のため、急遽、オンライン(ハイブリット方式)開催に切り替え、慣れない中、大変な総会となりました。8月開催の「岩見沢大会」は、2年連続の大会中止を何としても避けようと、大会史上初となる、オンライン開催を実現しました。

コロナ感染症は、「無知と偏見」から新たな差別を生み出し、また、様々な行動制限により、私たちの活動に大きな困難を突き付けました。

しかし、そうした中でも、今お話したように、育成会は、めげずに歩を進めてきています。障がい当事者や家族の代弁者として、今、私たち育成会が果たしていく役割は増々大きくなっています。「気づいた人が責任者！」今年度も育成会らしく、しっかりと前を向いて頑張っていくではありませんか。

「挨拶 (メッセージより一部を抜粋)

道育成会定時総会に寄せて

貴会におかれましては、道が実施する「知的障がい者生活文化教室開催事業」を受託され、知的障がいのある方々がゆとりと生きがいのある豊かな地域生活を営むことができるよう、各種文化教室を開催いただいております。

道では、令和3年度からの3年間を期間とする「第6期北海道障がい福祉計画」に基づき、「障がい者の自立と社会参加の促進」や「就労支援施策の充実・強化」などを柱として、今計画に盛り込んだ感染症対策なども含め、様々な取組を進めることとしています。

関係者の皆様と協働した取組を推進してまいりますので、引き続き、皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

北海道保健福祉部福祉局

障がい者支援担当局長 石橋 隆一様

道教委においては、障がいのある子どもたちの自立や社会参加に向けて、障がいの種類や程度によらない職業選択が可能となるよう、北海道応援団企業と連携した製品のオンライン販売に向けたWebマーケティングの学習や、筋ジストロフィー等の神経・筋疾患のある生徒が分身ロボットを操作して接客を行うリモート・インターンシップを実施するなど、ICTを活用し、障がいのある子ども

たち一人一人の可能性を引き出し、居住地や障がいの種類によらず、地域で自立しながら生活できるように教育活動の充実に努めているところです。

貴会においては、本年度、共生社会実現に向け「小さな一歩・大きな前進・輝く未来」を大会テーマに、障がいのある人のこれからが明るいものとなるよう皆で知恵を出し合い、心を一つにできる大会を目指した第67回北海道手をつなぐ育成会全道大会の開催を予定するなど、知的障がいがある方々が地域で生き生きと生活するための取組を推進し続けているところと承知しています。皆様方には今後とも御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

北海道教育庁学校教育局

特別支援教育担当局長 村上 由佳様

総会における決議事項（一部を紹介）

第4号議案

令和4年度 事業計画

活動の重点(6項目)

1. ブロック体制の確立と活動の充実・強化
2. 育成会活動活性化の推進
3. 他機関、他団体との連携強化
4. 障がい理解と合理的配慮の普及・啓発活動の推進
5. 本人活動への支援と自立
6. 育成会「広報・情報・芸術・スポーツ活動」の推進

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,505,348	2,396,689	1,108,659
普通預金	3,505,348	2,396,689	1,108,659
未収金	272,600	487,160	△214,560
前払金	27,380	1,900	25,480
流動資産合計	3,805,328	2,885,749	919,579
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	1,000,000	1,000,000	0
基本財産合計	1,000,000	1,000,000	0
(2)特定資産			
夢基金	3,523,472	3,523,173	299
財政調整基金	24,316,284	24,316,045	239
特定資産合計	27,839,756	27,839,218	538
(3)その他固定資産			
什器備品	0	1	
その他固定資産合計	0	1	
固定資産合計	28,839,756	28,839,219	537
資産合計	32,645,084	31,724,968	920,116
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	44,905	430,000	△385,095
前受会費	0	4,000	△4,000
預り金	125,879	124,275	1,604
流動負債合計	170,784	558,275	△387,491
負債合計	170,784	558,275	△387,491
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	1,000,000	1,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	27,839,756	27,839,218	538
正味財産合計	32,474,300	31,166,693	1,307,607
負債及び正味財産合計	32,645,084	31,724,968	920,116

令和3年度 決算書(予算対比正味財産増減計算書)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	全 会 計		
	予算額	決算額	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
特定資産運用益	0	538	△538
受取会費	3,118,000	3,118,830	△830
事業収益	700,000	761,600	△61,600
受取補助金等	8,180,000	5,937,040	2,242,960
受取委託費	9,050,000	9,050,000	0
機関紙頒布収入	3,490,000	3,303,480	186,520
受取寄付金	0	30,000	△30,000
雑収益	220,000	113,811	106,189
経常収益計	24,758,000	22,315,299	2,442,701
(2)経常費用			
事業費	15,130,000	12,047,118	3,082,882
職員費	4,768,000	4,911,085	△143,085
賞金	1,260,000	1,260,000	0
会議費	10,000	8,990	1,010
旅費交通費	500,000	194,650	305,350
通信運搬費	300,000	320,000	△20,000
手数料	40,000	6,215	33,785
消耗品費	30,000	65,698	△35,698
印刷製本費	1,010,000	1,213,740	△203,740
助成金	6,880,000	3,934,740	2,945,260
研修費	200,000	0	200,000
委託費	132,000	132,000	0
管理費	9,965,000	8,960,573	1,004,427
職員費	2,201,000	2,280,966	△79,966
退職給付費用	176,000	174,480	1,520
福利厚生費	30,000	26,043	3,957
会議費	70,000	84,437	△14,437
旅費交通費	1,300,000	820,150	479,850
通信運搬費	600,000	233,906	366,094
手数料	70,000	51,204	18,796
消耗品費	4,298,000	4,281,601	16,399
使用料・賃借料	460,000	387,302	72,698
負担金	620,000	507,500	112,500
委託費	70,000	77,000	△7,000
雑費	70,000	35,984	34,016
経常費用計	25,095,000	21,007,691	4,087,309
評価損益等調整前当期経常増減額	△337,000	1,307,608	△1,644,608
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△337,000	1,307,608	△1,644,608
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	1	1
当期経常外増減額	0	1	1
当期一般正味財産増減額	△337,000	1,307,607	△1,644,607
一般正味財産期首残高	0	31,166,693	△31,166,693
一般正味財産期末残高	△337,000	32,474,300	△32,811,300
II 正味財産期末残高	△337,000	32,474,300	△32,811,300

「サポートの出番！」



北海道生活サポート協会

会長 畑中三岐子

「総合補償制度」はコロナ感性症対応として、いち早く医療機関だけではなく、施設や自宅にその適用範囲を広げ、保険料の受け取りを可能としました。

今後とも、サポート協会の目的である障がいのある方と、そのご家族の生活の安定と福祉増進に寄与して参りたいと考えています。

親なき後の心配が少しでも解消されますように共に頑張りましょう。また、引き続き、道育成会がサポート協会の窓口となります。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

第4号議案

令和4年度 事業計画

3. 助成事業の充実
 - (1) 研修会等を道育成会と実施
 - (2) 当事者が作成した作品発表の場を道育成会及び、事業所連絡協議会と実施
4. 研修事業
 - (1) 道育成会が実施する研修事業への協賛・助成し「生活サポート総合補償制度」の普及と加入者対応等業務に係る

令和4年度 収支予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで (単位:円)

科 目	全 会 計		
	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費	3,110,000	3,118,000	△8,000
事業収益	700,000	700,000	0
受取補助金等	8,107,000	8,180,000	△73,000
受取委託費	9,050,000	9,050,000	0
機関紙頒布収入	3,354,000	3,490,000	△136,000
雑収益	110,000	220,000	△110,000
経常収益計	24,431,000	24,758,000	△327,000
(2)経常費用			
事業費	15,299,000	15,130,000	169,000
職員費	5,017,000	4,768,000	249,000
賞金	1,260,000	1,260,000	0
会議費	10,000	10,000	0
旅費交通費	500,000	500,000	0
通信運搬費	250,000	300,000	△50,000
手数料	20,000	40,000	△20,000
消耗品費	70,000	30,000	40,000
印刷製本費	1,010,000	1,010,000	0
助成金	6,830,000	6,880,000	△50,000
研修費	200,000	200,000	0
委託費	132,000	132,000	0
管理費	9,263,000	9,965,000	△702,000
職員費	2,341,000	2,201,000	140,000
退職給付費用	180,000	176,000	4,000
福利厚生費	30,000	30,000	0
会議費	85,000	70,000	15,000
旅費交通費	1,000,000	1,300,000	△300,000
通信運搬費	300,000	600,000	△300,000
手数料	70,000	70,000	0
消耗品費	4,180,000	4,298,000	△118,000
使用料・賃借料	400,000	460,000	△60,000
負担金	550,000	620,000	△70,000
委託費	77,000	70,000	7,000
雑費	50,000	70,000	△20,000
経常費用計	24,562,000	25,095,000	△533,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△131,000	△337,000	206,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△131,000	△337,000	206,000
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△131,000	△337,000	206,000
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	△131,000	△337,000	206,000
II 正味財産期末残高	△131,000	△337,000	206,000

- (2) 事務費、人件費、所要分を負担「本人の会」が主催する「ひろげよう みんなのわ」の助成
- (3) 関係機関と連携、協力し各種セミナーの開催(年金・親なきあと等)



第67回全道大会 帯広大会

『本人大会』ご期待ください!



帯広市手をつなぐ育成会

事務局 大崎 和枝

8月7日(日)、全道大会帯広大会と並行して開催される障がい当事者の皆さんによる『本人大会』は本年度28回を数えます。

帯広市手をつなぐ育成会では当事者による、いわゆる「本人活動の一つ」として、昨年より集合型での本人大会を想定し、準備を

重ね、分科会のテーマや役割分担などを全道の本人の会の皆さんとオンラインで話し合いを進めてきました。

しかし、最終的には昨年の岩見沢大会に続き帯広大会もオンライン(ハイブリッド方式)開催となりました。参加者全員が会場に集まることは難しく、現在は、分科会ではなく、シンポジウムに切り替え、準備を進めています。

本人大会のテーマは『仲間と手を取り合い輝く未来を切り開こう』スローガンは(1)『私たちのことを決める時は 必ず私たちを交えて決めることをかけがえのない仲間とともに伝えよう』(2)『当たり前前に地域で暮らせる社会を目指して ここ農業王国 とかち 帯広で行動をおこそう!』です。

5月29日(日)には本人大会の第二回実行委員会を行い、司会を本人大会実行委員長であり、帯広えがおの会の会長 瓜生徹之さんと支援者が行いました。シンポジウムのテーマは『暮らし、仕事、災害(コロナ、戦争)今ある不安と未来への願い!』と決定。



悩みを話すことで自分だけの不安ではない、同じような思いを抱える仲間がいる。今すぐ会うことは出来ないかもしれないけど『繋がっている!』と実感していただけるような内容になるようがんばります。

皆さんで意見交換をした後は、『ちいさな手大きな手? クニさんミカちゃんコンサート』と題し、帯広市在住のクニ河内さん 野田美佳さんによる、ミニコンサートを予定しています。参加者の皆さんも一緒になって楽しい思い出をつくって下さい。沢山のご参加を心よりお待ちしております。



コロナに負けるな！ 事業所応援キャンペーン

企画：北海道手をつなぐ育成会 事業所協議会

販売してみませんか？

「旨味成分抜群！乾燥椎茸(室蘭母恋産)」

「室蘭手をつなぐ育成会」で運営する就労継続支援B型事業所『むろらんワークセンター岬』では、年間、約8トンにも及ぶ《椎茸栽培》を行っています。

しかし、ここ2年間、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域や企業でのイベントが次々と中止となり、かつてイベント販売等で数多くお買い求めいただいていた《乾燥椎茸(室蘭母恋産)》が行き場を失ってしまいました。

そこでこの度、「卸売り価格での販売」をさせていただきますことにしました。

どうか、ご協力をお願い致します。



通常、60g430円(税込販売価格)を300円(約30%off税込)、1ロット30個単位での発送となり、道内送料は無料です。ただし、お振込み手数料はお客様負担となります。なお、在庫は現在40ロット。早い者勝ちです。お味は抜群、自信作。賞味期限は納入より6ヶ月となります。ぜひ、下記までご連絡をお待ちしています。

【お問い合わせ・連絡先】
「むろらんワークセンター岬」(担当 松本、鈴木)
TEL 0143-22-5671・FAX 0143-22-5672
E-mail: mcikusei@beige.plala.or.jp

緊張しています…



本人大会実行委員会

委員長 瓜生 徹之

20年振りの帯広開催なので、今から緊張をしています。当日の進行がスムーズにいくように支援者の方々にエールをいただきながら頑張りたいと思います。多くの皆さんで、楽しく交流をしたいと思っておりますので沢山の参加、お待ちしております。よろしくお願ひします。

今後の予定

7月4日(日) 帯広大会 第3回実行委員会
12日(火) 第1回広報企画専門委員会

知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

●日常生活に関する相談支援

●就労に関する相談支援

●権利擁護に関する相談支援の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

主な補償内容

病気やケガで入院したとき
入院給付金

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金 *プランによって
差額します

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償 *プランによって補償します

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術 / 各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任保険金

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき
職業従事事故対応費用補償 *プランによって補償します

*上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 北海道支店

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102

レジディア大通公園 2F

TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704

受付時間: 午前9時～午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

https://www.aig.co.jp/sonpo

札幌支店

〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F

TEL: 011-204-7510

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 4階

北海道手をつなぐ育成会内

TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2021年12月現在の内容です。(D-005642 2023-03)

知的障がい・
発達障がい、
ダウン症、
てんかんのある方、
ご家族に

病気やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ



ぜんちの

あんしん保険

少額短期健康総合保険(無告知型)2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

特別支援教育を必要とされている方へ



ぜんちの

こども傷害保険

権利擁護補償付傷害保険 2019年創設

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、
弁護士がサポート



このようなお困り事に
心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら



ぜんち共済株式会社

関東財務局長(少額短期保険)第14号

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

【2020年1月作成 19-T06633】

0120-322-150

平日9時～17時(土・日・祝日・年末年始を除く)

URL: http://www.z-kyosai.com/

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

有限会社オフィスブレイン

〒060-0032

北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階

TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523



弁護士が
全面的に
サポート

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の
目的です。

私たちは、『経営』と『志』の統一を目指しています。

体力のある事業所も体力のない事業所も助け合います。

あなたの事業所の入会を待っています。

北海道手をつなぐ育成会 事業所協議会

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 (4F)

電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804

E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

マルハチ急行(株)福祉事業部サークルエイト

〒066-0077 千歳市上長都1039-25

電話(0123)40-0800 / FAX(0123)40-0822

E-mail: aoki0512@gmail.com

★就労継続支援 B 型

☆定員30名

★主な作業

☆原木椎茸栽培

☆野菜生産

☆アルパカの毛のゴミ取り

☆切り干し大根・

干し椎茸製造

☆除雪作業

★楽しく作業に参加
できるように心が
けています。

